



会生産者の有機野菜。

パック野菜として安全農産供給センターから供給



若手会生産者の学習会

有機農業・気候変動などに関する学習会・講演会活動



環境活動に積極的に取り組んでいます



会事務所 / さまざまな会活動の拠点です
併設：あんてなショップ「ふっと」
誰でも購入が可能。毎週火曜日にプチ野菜市。

使い捨て時代を考える会 事務所



地下鉄丸線「四条駅」⑥出口より徒歩 10 分
阪急「丸線」⑥出口より徒歩 10 分②出口より徒歩 6 分
※ライブハウス「磔磔（たくたく）」隣

NPO法人 使い捨て時代を考える会
〒600-8061 京都市下京区富小路仏光寺下筋屋町141
TEL 075-361-0222 FAX 075-361-0251
E-mail info@tukaisutejidai.com
HP http://www.tukaisutejidai.com

安全農産供給センター



近鉄京都線「向島駅」より徒歩 15 分

安全農産供給センター

〒611-0041 京都府宇治市槇島町目川118-7
TEL 0774-22-4634 FAX 0774-24-9512
E-mail info@anzennousan.com

有機が当たり前の

未来へ

おいしい暮らしと
社会の作り方

お教えします！

それは



NPO 法人使い捨て時代を考える会

安全農産供給 センター

わたしたちの目指すもの



近郊で採れた有機栽培の作物、

自分で育てた有機野菜、

伝統製法の調味料、

本物の加工品を使って、

誰もが自分のために、

家族のために、料理をする。

親しい人たちとおいしく体にいいものを

食べて、会話も弾む。

若者がいきいき働く田畑では子どもが駆け、

トンボや蜂が飛び回る。

料理の材料も、田畑の資材も、人材も、

身近なところでまかなえる。

食、エネルギー、資源、お金、人々が、

小さい地域で幸せな循環をする。

理想の食と農のあり方、

それは、懐かしい未来。

食べものもその向こうの 世界も丸ごと引き受けます

有機農家や加工業者の生産現場と

家庭の台所をつなぐために

4つの取り組みを進めています。

1. 消費者が生産者の現場を支える仕組みの運用
2. 有機食材を家庭に届ける仕組みの運用
3. 体験の場や援農の仕組みの創出
4. 情報発信、教育と交流の場づくり

見たこともないビジョンがたちあられる、そういう場所を作る

私たちは、泥臭く、めんどくさい団体です。なぜなら、未来を作るとはそういうことだからです。現実の世界は私たちの目指すものからかけ離れています。地球温暖化、異常気象、作物が順調に育てられない、とにかく忙しい・・・

こんな世界では、子どもたちが幸せに生きることができない。

じゃあ自分たち自身で、別の未来を作ろう！

少なくとも、どんなにひどい未来が来ても、パニックにならず対処できる自分と仲間を作ろう。

そうして私たちの会は生まれ(1973年)、自前で幸せ作りを始めました。

自分たちが食べる食材を同じ会員生産者に作ってもらおうと安全農産供給センターを1976

年に設立。みんなでリスクも恵みも共に分かち合います。これが一番安心で安全です。

南丹地区活性化のための交流の家と工場



マチにとどけます



マチとムラをつなぐ
活動マップ(含生産地・供給範囲)



南丹地区生産者たち



さまざまな地区の生産者たち



月ヶ瀬・伊賀地区生産者たち



滋賀県伊賀市月ヶ瀬/会の農場、この指とまれ農場





南丹市と伊賀市この指とまれ農場で
農業教室を
実施しています

会員から預かった
お金で
農業基金を運営し、
冷蔵庫や
農業用機具
を購入してもらっています。



有機生産者



料理教室

消費者

食べ手、作り手、運び手が、
立場の違いを超え、
協力していく

生産者

流通

農産物の生産・供給・消費
における新しい流れの形成

四条河原近くの会事務所を
コミュニティスペースとしても
活用しています。

写真は子どもイベント



安全農産供給センター



有機があたりまえの社会を
つくりたい方はこちら



入会までの流れ

二つのパターンがあります



未来つき有機野菜を
届けてほしい方はこちら



① 使い捨て時代を考える会に入会

→ 会の事務所直接来るか、下記まで連絡ください

TEL075-361-0222 FAX075-361-0251 info@tukaisutejida.com

※会はどんな活動をしているのか?

→ たくさんやっています。が、すっきり返事できません!

■ なぜならば「会としての活動」よりも「会員が自発的・自律的に、具b
体的に直面する現実との会話を通して、可能なところから、くらしの
変革を行う」ことをより重視しているからです。

考え方・生き方は基本的には一人一人のものです。画一化された、
規制されたりすべきものではありません。しかし、その多様な活動は、孤
立させず、多くの人たちとの協力・励ましでおこなう方が楽しい。その
ような「場」を用意するのが「会」です。このことが、会の動き・形
態を雑多で 多様で理解しがたいものにするのはやむをえません。

■ 上の様な活動の延長上に、農産品と食を通じて「暮らしを変える」
ための活動＝安全農産供給センターがあり、「考える素材」として生
産物の定期配送を行っています

■ 毎週第一月曜日10:30より会事務所で、会員懇親会を行っています。

※入会への感謝のしるしとして、会で使われている地域通貨ポコ券を10ポコ
さしあげます。事務所に併設されている安全農産供給センターのあてな
ジョッ「ふっと」でポコ券は使えます。

※年会費 3,200円 (7月以降の加入の場合は半額)

※月刊情報誌「あてな」、機関誌「果林」(減速年一回)を月一回発送します。

② 使い捨て時代を考える会と 安全農産供給センター、共に入会

→ 安全農産供給センターに連絡ください

TEL0774-22-4634 FAX0774-24-9512

安全農産供給センターHPの申込みフォーム

一週間に一度自社便で野菜他を届けます。配送は外注、アウトソーシングで
はありません。専従(スタッフ)は畑と街をつないでいます。商品の特徴や料理
方法をきちんと説明し、有機農業で頑張る生産者の想いも伝えます。

共同購入(3人以上)をお勧めします。配送手数料無料です。個配でもOK
です。留守の場合ドライアイス等を入れた保冷箱に注文品を入れて置いて
いきます。私達はガソリン代など、配達にかかる経費を食品の価格に上乗せ
していません。ですので配送手数料を頂いています。ただしーか月、2万6千円
(消費税除く)以上の購入で配送手数料(月1600円)は無料です。

4週間のお試し供給期間があります。その期間は出資金・年会費・配送手数料
は不要です。もちろんすぐ入会も可能です。

STEP1

電話・FAX
メールで
問い合わせ
資料と試食用
サンプルをもって
説明に伺います

STEP2

年会費
3200円(7月~1600円)
出資金(退会時返還)
ー口10,00円
ゆうちょ銀行より
自動引き落とし

STEP3

配送の曜日・時間が
決まった次の週から。
注文書をお届け
代金の支払いは
月末締めで翌日10日
ゆうちょ銀行
より自動引き落とし